

議案第2号

令和6年度 事業計画（案）について

自 令和6年4月1日 ～ 至 令和7年3月31日

1. 事業の方針

新型コロナウイルスの流行が沈静化し、感染症法上の位置付けが5類へ移行された5月からは、コロナ禍で落ち込んだ観光需要が大幅に回復してきたその矢先、令和6年1月1日発生した能登半島地震の影響により、観光振興はもとより地域、宿泊施設及び観光施設等は大きな被害を受け、施設を管理している和倉温泉お祭り会館においても当面の間、休館することとなりました。

令和6年度においては、七尾市・中能登町の観光産業の振興等を図るため、日本版DMOの形成・確立における活動を基本とし、昨年度から見直し作業を進めている「ななお・なかの」と観光振興プラン」の策定を継続して行い、七尾市・中能登町に観光客等が安心して訪れることができるよう復旧・復興に努め、地域の多様な関係者と連携し、地域に息づく暮らし、自然、歴史、文化等に係る地域資源・観光商品のブラッシュアップを行い、ポストコロナ及び復興へと向けたDMOエリア内の観光の魅力向上と誘客に向けた観光コンテンツの造成を図り、各種プロモーション活動を展開していく。

2. 具体的な取り組み

(1) 一般社団法人ななお・なかのとDMOの組織運営

七尾市・中能登町の「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、観光地の一体的なブランドづくりなどの観光振興を戦略的に担う組織の運営を行う。

①DMO組織運営費

内容：組織運営にかかる人件費、通信運搬費、事務費など

②第2次ななお・なかのと観光振興プランの策定

内容：新型コロナの沈静化及び能登半島地震からの復興等の環境の変化に対応し、日本版DMO形成確立計画のKPI（来訪者満足度、リピーター率など）を設定しつつ、継続的なデータ収集・分析・整理を行いながら、観光誘客や受入環境の整備等を含む「ななお・なかのと観光振興プラン」を見直し、戦略的及び持続可能な観光の振興を図る。

③地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業

内容：旅行者の地域周遊・長期滞在を促進することを目的に、地域に専門家を派遣し、課題解決に向けた戦略の策定、好循環を創出する施策の展開等の助言を実施。
対象事業：観光戦略の策定、DMO等の財源確保、観光施設の運営、滞在コンテンツの造成等

④観光地域づくり法人（DMO）の体制強化（観光庁）

内容：インバウンドに対応した観光地域づくり法人の形成を促進し、魅力ある観光地域づくりを促進することを目的としている。

補助額：定額補助

※外部専門人材の登用1人あたり1,500万円を上限とする。

1. 外部専門人材の登用 《専門的知見や外国人目線を有する外部専門人材の登用に係る費用を支援》 【補助率】定額 上限1,500万円
<ul style="list-style-type: none">・インバウンドに関するデータの分析とそれに基づく誘客／観光消費戦略の策定・外国人旅行者に選好される魅力的なコンテンツの開発・強化・外国人旅行者が快適かつ安全に周遊・滞在できる受入環境の整備・国外向けの戦略的な情報発信・プロモーション
2. 中核人材の確保及び育成 《中核人材の確保及び育成に資する以下の取組に係る費用を支援》 【補助率】定額 上限500万円
<ul style="list-style-type: none">・採用活動 ●他のDMOとの人材交流 ●先進的な海外観光地域への視察・研修・セミナー等の受講
3. 安定的な財源の確保に向けた取組 《安定的な財源の確保に資する以下の取組に係る費用を支援》 【補助率】①定額 上限500万円 ②定額 上限200万円
<ul style="list-style-type: none">・安定的な財源の確保のための計画の策定（①）・宿泊税、入湯税、入域料等の地方税、受益者分担金、負担金等導入に向けた合意形成に資する勉強会、シンポジウム等の開催

※第一次公募 令和6年2月2日～令和6年3月4日

※第二次公募があり次第、申請を行う。

⑤DMO事業報告

内容：地域・関係団体の方々に対して、DMOの事業活動への理解を深めていただく場として事業報告会を開催。

※観光地域づくり法人においては、地域住民・関係自治体を含めた関係者に対する説明責任を果たすため、事業内容・成果・KPIの達成状況や観光地域づくりの取り組みを記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有することが必要。

（観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドラインより抜粋）

（2）着地型観光商品の見直し

これまで商品開発してきた着地型観光商品については、観光需要に対して満足な形で提供できているとはいえない。

旅行ニーズの多様化に対応した観光商品の整理及び磨き上げを行い、復興と合わせながら旅行商品化の促進を図る。

① 観光商品電子チケット導入

観光商品(能登前寿しクーポン等)の電子チケット化による管理業務の低減および利用者・受け入れ事業者の利便性の向上を図る。

現況では、月初めのチケット回収や集計などの負担が大きく、スキームの簡略化を進めることで、これらのコストの低減を図る。

また、店舗側には機器の導入無しで商品用QRを用意するのみで実現可能となる予定。

(3) 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信

① 首都圏・関西圏・中京圏等の観光客や外国人観光客の誘客活動

内容：観光素材及び着地型観光商品を旅行会社の商品造成担当者等に提案し、旅行商品化に繋げていくために、プロモーション活動等を展開していく。

また、能登半島地震をきっかけに、北陸に関心をもつ旅行者が増えていることから能登観光の灯を消さないよう、詳細な情報を提供することにより、不安払拭を払い、七尾市・中能登町の魅力や復旧・復興状況への歩みをアピールし、今行ける能登を発信していく。

[観光プロモーション及び商談会 予定]

月 日	イベント名	場 所	主催者[問合せ先]
4月16日(火) [参加辞退]	北陸DCプロモーション 会議	ANAクラウンプラザホテル金沢3階「鳳の間」	石川県観光連盟
4月27日(土)	能登物産展 4月27日(土)～29日(月)	金沢駅コンコース	金沢市観光協会 JR西日本コミュニケーションズ
5月8日(水) ～10日(金) [出展見送り]	第2回国際ウェルネスツーリズムEXPO	東京ビッグサイト	事務局：RX JAPAN 株式会社
6月11日(火)	北陸観光PR会議	TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋	石川県文化観光スポーツ部観光戦略課(志賀町がDMOエリアの状況を紹介)
7月26日(金) ～27日(土)	第3回日本観光ショーケース	グランキューブ大阪	日本観光ショーケース実行委員会 (株式会社マイナビ、株式会社トーガシ、他)
9月26日(木) ～29日(日)	ツーリズムEXPO ジャパン2024	東京ビッグサイト	日本観光振興協会 日本旅行業協会(JATA)
9月28日(土) ～29日(日)	北陸DC 大都市圏PRイベント	大阪駅構内PR	[県文化観光スポーツ部観光戦略課誘客戦略グループ]
10月5日(土) ～6日(日)	北陸DCオープニング イベント	南加賀エリアで調整中	[県文化観光スポーツ部観光戦略課誘客戦略グループ]
10月16日(水) ～18日(金)	第1回地方創生ツーリズムEXPO	東京ビッグサイト	レジャー&アウトドアジャパン実行委員会
10月19日(土)	ご当地キャラ博2024 10月19日(土)～20日(日)	彦根市中心市街地	ご当地キャラ博 in 彦根 実行委員会

10月予定	いしかわ旅行商品プロモーション会議	金沢市	石川県観光連盟
11月2日(土)～4日(月)予定	北陸DC食のイベント	富山県内 氷見市を予定	[県文化観光スポーツ部観光戦略課誘客戦略グループ]
11月16日(土)～17日(日)	第31回全国山城サミット	島根県益田市	益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会
11月頃	北陸観光PR会議	TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋	
2月下旬	北陸観光PR会議	TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋	

②観光客のニーズや嗜好に応じた魅力の発信

内容：七尾・中能登エリアにおいて、観光客のニーズや嗜好に応じた、きめ細やかな多様な観光情報を提供していく。

③SNSなどを効果的な媒体を活用した情報発信

内容：SNSや旅行予約サイトなどを活用した情報発信に取り組む。

多言語によるパンフレットや映像コンテンツを活用し、DMOエリア内の観光の魅力を海外に発信していく。

「ななお・なかのと観光Navi」(HP・Instagram・Facebook・YouTube)

(4) 観光案内所の運営

内容：JR七尾駅・和倉温泉駅での観光案内やレンタサイクル及び手荷物預かりなどの各種サービスを実施し、観光客等への利便性及びおもてなしの向上を図る。

- ・観光案内所事業 内容：JR七尾駅・和倉温泉駅での一体的な管理運営及び観光案内。
- ・収益事業 内容：レンタサイクルや手荷物預かりなど観光客への利便性を図る。
- ・その他 令和6年能登半島地震の影響により、JR七尾駅・和倉温泉駅両駅での観光案内所は1月より休所となっているが、復旧状況を注視しながら10月頃には開所していきたいと考えている。

3. 各観光協会への支援

(1) 和倉温泉観光誘客支援事業【事業主体：和倉温泉観光協会】

内容：和倉温泉の魅力向上及び和倉温泉を拠点とした観光誘客の促進を図る。

(2) 能登島観光協会運営事業【事業主体：能登島観光協会】

内容：能登島の観光振興と誘客促進事業を展開し、交流人口の拡大を推進する。

4. 文化観光の魅力向上

(1) いしかわ文化観光コンテンツ造成支援事業(申請予定)

内容：「文化の担い手」と「観光事業者」が連携して実施する文化資源を活用した高付加価値な文化観光コンテンツ造成の取り組みを支援することで、文化観光の魅力向上及び誘客拡大に繋げる。

文化資源：「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」を活用

- ・能登島向田の火祭
- ・石崎奉燈祭

実施期間：補助金の交付決定日(令和6年10月頃から令和8年9月30日)
[2年以内]

補助額：1年以内／上限 500万円 2年以内／上限1,000万円

補助率：補助対象経費から事業収入を控除した額の2/3以内

5. その他関係機関との連携

和倉温泉観光協会、和倉温泉旅館協同組合、能登島観光協会、七尾商工会議所、能登鹿北商工会、中能登町商工会、(一社)中能登スローツーリズム協議会、中能登町観光協会、公益社団法人石川県観光連盟、(一社)能登半島広域観光協会、七尾特産品協会、能登空港利用促進同盟会、ユネスコ5大祭連携PR部会、能登DMC合同会社、ボランティアガイドはろうななお、能登國石動山を護る会、北鉄能登バス株式会社、株式会社丸一観光、(一社)昇龍道ドラゴンルート推進協議会、一本杉通り商店街、和倉温泉商店連盟、能登の國・七尾城プロジェクト実行委員会等の連携による事業展開及びプロモーション活動を実施。

(1) 和倉温泉屋台村

内 容：能登半島地震の被害を受けた地元商店の復興と、地域住民及び復興事業者への地元産品を使用した食事の提供

主 催：和倉温泉商店連盟

協 力：(一社)ななお・なかのとDMO、和倉温泉観光協会、(一社)七尾青年会議所
七尾市

日 時：4月28日(日)～10月31日(木) 毎日開催 18:00～21:00

場 所：和倉温泉お祭り会館専用駐車場

出店者：和倉温泉商店連盟会員 10店舗程度

(2) (一社)中能登スローツーリズム協議会

事業名：地域観光新発見事業(観光庁)

「今、伝えたい。防災・復興×能登の先人の頼れる知恵「農業・発酵文化」を語り継ぐ伝承ツーリズム」

内 容：能登半島地震からの復興に向け、奥能登地域復興の後方支援基地である中能登町にて「農業・発酵文化×防災」のコンテンツ造成を行う。能登半島に古くから根付く農業、発酵食の魅力を伝えながら、そこから得られる防災・復興のヒントを学び、震災を風化させずに語り継いでいく語り部育成にも取り組み、震災さらには地域文化の伝承を実施していく。

実施主体：(一社)中能登スローツーリズム協議会

6. 重点事業活動

(1) 第2次ななお・なかのと観光振興プランの策定（再掲）

新型コロナの沈静化及び能登半島地震からの復興等の環境の変化に対応し、日本版DMO形成確立計画のKPI（来訪者満足度、リピーター率など）を設定しつつ、継続的なデータ収集・分析・整理を行いながら、観光誘客や受入環境の整備等を含む「ななお・なかのと観光振興プラン」を見直し、戦略的及び持続可能な観光の振興を図る。

※観光地域づくり法人(DMO)の体制強化(観光庁)の活用を検討

(2) 北陸新幹線敦賀延伸（令和6年3月16日）

北陸新幹線敦賀延伸（県内全線開業）により、関西からの直結輸送がなくなることから、乗り換えの煩雑さから誘客の低迷が予想される。

JRをはじめとした交通事業者や大手旅行会社と連携したプロモーション活動やアンテナショップを活用した情報発信を強化していく。

また、適時、関西圏に対し、積極的な誘客活動を行い、能登・和倉温泉の認知を高め、将来的な再訪意欲を高めていく。

(3) 着地型観光商品の増強（再掲）

これまで商品開発してきた着地型観光商品については、観光需要に対して満足な形で提供できているとはいえない。

旅行ニーズの多様化に対応した観光商品の整理及び磨き上げを行い、復興と合わせながら旅行商品化の促進を図る。

また、受入側が疲弊せず、持続的に観光客の受入ができる素地づくりを連携する関係団体と進めていく。

- ・石動山の史跡を訪ねるつどいツアー

山岳信仰の霊山として栄え、ブナ林や夏になると石動山ユリが花を咲かせる自然豊かな地をガイド付きで散策するツアーの造成。（七尾城跡と連携）

- ・机島アドベンチャーツーリズム

奈良時代の歌人、大伴家持が歌を詠んだ机島を文化観光スポットとして、新たな旅行商品の開発を促進する。

(4) 第17回全国どぶろく研究大会

第17回全国どぶろく研究大会の開催については、令和7年1月17日に開催を予定していましたが、能登半島地震の影響により1年延期されることとなった。

DMOとしてもこれまで、どぶろくを使用した商品開発及び知名度向上、どぶろく祭りイベントへの誘客支援を行ってきたことから、引き続き観光庁等の補助事業の活用を検討しながら、研究大会開催に向けての支援及び準備を行っていく。

7. 指定管理施設の管理運営

- ・指定管理施設の管理運営など良好な施設の維持管理に努め、効率的に収益を上げられるよう各施設の利用促進を検討し、コスト削減に努めていく。
- ・能登半島地震の影響により各施設は被害を受け、和倉温泉お祭り会館では当面の間、休館することとなった。観光客及び利用者が安心してご利用いただける日が一日でも早く訪れるように各施設の復旧に努めていく。

(1) 和倉温泉お祭り会館

- ・目標入館者数：30,000人となるよう利用促進を検討
- ・休館日：能登半島地震の影響により、当面の間、休館
- ・開館時間：午前9時～午後5時
- ・入館料：一般800円、小・中400円
- ・指定期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日
- ・専用駐車場及び屋外トイレの管理
- ・会館の維持管理及び運営
施設及び設備の修繕、除草作業、防火訓練(総合訓練)、階段昇降機点検、空気環境測定、冷凍庫点検、害虫駆除、展示機器保守点検等
- ・和倉温泉お祭り会館運営検討会議
収益向上等を図るため、関係者とハード整備を含めた利用促進及び魅力づくりの検討を実施する。
 - ① 誘客促進、プロモーション、物販商品開発、酒類販売、入館料、企画展の検討等
 - ② ハード面
文化遺産観光拠点充実事業(文化庁)
補助内容：展示物リニューアル・修繕、音声ガイド整備、ガイドンス機能充実
- ・SNSなど効果的な媒体を活用した情報発信
SNSや旅行予約サイトなどを活用した情報発信に取り組む
映像コンテンツなどを活用し、DMOエリア内の祭り及びお祭り会館の情報を発信

(2) 潮の香広場

- ・駐車区画：普通車93台・大型車3台
- ・指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日
- ・施設管理：施設の利用申請許可、施設の修繕、周辺清掃・除草作業、除雪

(3) 湯っ足りパーク(わくたまくん広場含む)

- ・指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日
- ・施設管理：トイレ清掃、周辺清掃、除草作業、芝刈工、除草剤散布等
- ・復旧事業：令和6年能登半島地震中小企業特定施設等災害復旧費補助金
(石川県なりわい再建支援事業)
 - ① 復旧箇所：カラーアスファルト遊歩道、展望台の解体及び移築等の検討
 - ② 補助対象事業者：中小企業者(一般社団法人含む)
 - ③ 補助率：3/4
 - ④ 補助対象経費：中小企業等の施設又は設備であって、令和6年能登半島地震による災害のため損壊又は継続して使用することが困難になったもののうち、施設及び設備の復旧・整備に要する経費が対象。

(4) 和倉温泉運動公園ヨットハーバー

- ・指定期間：令和５年４月１日から令和８年３月３１日
- ・施設管理：周辺清掃、除草作業、芝刈工、芝生施肥、トイレ内備品補充など
- ・復旧箇所：艇置場等のアスファルトの亀裂、側溝、排水路等